





# 夏の特別 体験授業

2023年8月19日 [土] 10:30-14:30 (受付 9:30~10:30)  
(受付 12:00~12:50)

「文化情報学科ではどんな授業が受けられるんだろう——？」

2023年4月に開設された文化情報学科に所属する7名の教員が、高校生の皆さんに向けて、夏休みの特別授業を開講します。大学の授業のエッセンスを実際に体感できる貴重な機会です。是非、ふるってご参加下さい！

## 内容紹介

### 10:40 ~ 12:10 社会・文化グループ (10:30 ~ ガイダンス・学科説明)

一階千絵 [体育学・スポーツ人類学]	歸山亜紀 [社会学・社会調査法]	鈴木親彦 [文化資源学・文化資料のデジタル化]	尹鈺喜 [家族社会学・地域研究]
スポーツの起源を探る	社会調査のしくみ	デジタルアーカイブで 文化財を見つける・集める	「地域」と「国際」の関係を知る
ヒトはなぜ身体を動かすことを楽しんで んだり競ったりするのでしょうか。この 体験授業では、いくつかの学説や 世界の民族的な儀礼などからスポー ツの起源を紐解いていきます。	社会を知るための方法のひとつであ る社会調査(サーベイリサーチ)の しくみを学びます。なぜ一部のりび とにたいする1回の調査で、全体を 知ることができるのでしょうか。こ のしくみについて一緒に考えてみま しょう。	デジタルアーカイブとは何か? 文 化財をどう探し、どう学び、どう楽 しむか? その活用の入口に立って みましょう。スマホ・パソコンなど で実際に探し・集める方法もお教え します。※機器がない方も参加いた だけます。	現代社会では、グローバル化により 国境を越える人々の移動がより活発 になっています。体験授業では、近 年の国境を越える人々の移動から、 私たちが暮らしている「地域」と「国 際」のつながりについて考えます。

### 13:00 ~ 14:30 情報・メディアグループ (12:50 ~ ガイダンス・学科説明)

黒田覚 [数理論理学]	細川雄一郎 [情報の哲学・情報の倫理]	山崎隆広 [メディア論・文化におけるメディア]
コンピュータのしくみを体験する	「論理的に考える」とはどのようなことか	メディア論入門
コンピュータは数学者の Alan Turing によって、 紙の上で動く仮想的な機械として設計されまし た。この授業では、Turing の機械を単純にしたも のをコンピュータを使わずに動かしてみます。	「論理的に考えよう」とよく言われます。しかし「論 理的に考える」とは一体どのようなことなので しょうか。この講座では、「嘘つきのパズル」を 題材にして、この「論理的に」の意味を考えます。	メディアが我々の「意識」を作り出す? いまや 我々は様々なメディアの「争いの場」になっている? 身近なメディアの存在に改めて思いをめぐらせ、メ ディアと私たちの関係について一緒に考えてみま しょう。



\*参加者は午前の「社会・文化グループ」の授業から一つ、午後の「情報・メディアグループ」の授業から一つを選んで受けることができます。申し込み時にご希望を入力してください(当日変更も可)。  
\*1クラスあたりの受講者の目安は20名程度です。人数が大幅に超過した場合には他の授業を受けていただくこともありますので、予めご了承ください(なお人数超過の場合には高校生の方を優先させていただきます)。  
\*当日のプログラムの内容は予告なく変更されることがあります。予めご了承ください。  
\*昼食が必要な場合は各自ご用意ください。  
\*下の QR コードまたは <https://forms.gle/aL7tb7zgt5euEfyMA> からお申し込みください。



お申し込みはこちらから  
申し込み締切日 8月16日(水)

※お申し込み多数の場合には期日前に締め切らせていただくことがあります。予めご了承ください。

文化情報学科の  
関連サイト



授業動画



文化情報学科  
ツイッター



文化情報学科  
フェイスブック